



日本最大の環状貝塚「加曾利貝塚」

こんな大きな貝塚のサークル なんぞ???



抱き合った二人が出土した「飛ノ台貝塚

貝塚は縄文人のゴミ捨て場??? 2008.9.4.

9月3日&4日 縄文の仲間の「関東の遺跡・博物館から縄文を見直す旅」に参加して、千葉市の大型環状貝塚「加曾利貝塚」と船橋市の縄文早期 縄文人が村を作り始めた頃の貝塚「飛ノ台貝塚」を訪ねました。縄文を特徴づける「サークル 渦巻き」 縄文土器や土偶にみられる渦巻き文様 ストーンサークルや環状集落 北陸にはウッドサークル 北海道には周堤墓もある。 縄文人はこの渦巻き文様に「再生の願い」をかけたといわれる。

関東の東京湾沿岸には数多くの貝塚があり、中でも千葉市加曾利には日本最大かつ円環状に作られた環状貝塚があり、また、船橋市飛ノ台には縄文人が狩猟採取の村を作り出した頃の貝塚がある。

「縄文を特徴づけるサークルのルーツ・意味を見つけられるかもしれない」と。

千葉市の大型環状貝塚「加曾利貝塚」には以前にも訪れたことがあり、新しい知見が明らかになっているかも。

また、飛ノ台貝塚は縄文時代の早期 まだ集団生活が始まったばかり、縄文の村のルーツが探れるかも。

同好の志ばかりの年に一度の一泊旅行 縄文談義に花を咲かせながらの楽しい旅でした。

1. 加曾利貝塚の環状貝塚は やっぱり縄文人が思いをこめたサークルか??

以前「この環状に縄文人の思いがこめられている」と思って訪ねたのですが、その後 この貝塚は東京湾の貝類の共同干し場説が有力と聞きき、ちょっと違和感を覚えていたのですが、今回訪ねた加曾利の学芸員の人の話では、今 貝類の共同干し場説を唱える人は少ないという。 栄養価の少ない貝類が広く流通する交易品とは考えられないという。それよりも、この環状貝塚の周囲の斜面に竪穴住居が本当に数多く点在していることが、だんだん明らかになり、その人たちの生活の跡と考えるのが自然だという。 千年をかけた環状貝塚が二つ。 さらに もうひとつ隣接して環状貝塚が見つかっているという。なぜ 環状なのか・は教えてもらえなかったのですが、私のイメージに近い。 でも まだ墓域がみつからないので、なんともいえず。

2. 縄文草創期の 飛ノ台貝塚 貝塚はゴミ捨て場ではない。 再生の願いをかけた一番大事な神聖な場所か???

東京湾から東へ数キロ北東数キロに中山競馬場がある高台の上にある小さな貝塚遺跡。

竪穴式住居と貝塚そして多数の炉穴(野外調理用の炉) がセットになって、多数の竪穴住居が見つかった遺跡で、 縄文の始まり頃の村の様子を示す貝塚として有名。また、食用ではなく狩りのパートナーとして縄文犬を また、お互いに抱き合った男女が貝塚に葬られていたことでも有名な遺跡である。

この遺跡を案内してくれた解説の学芸員の方は開口一番

「貝塚はゴミ捨て場ではない。 縄文人が一番大事にしていた神聖な場所だ」

という。そして 上記したようなこの貝塚を説明しながらを案内してもらった。

「食料になった数々の狩猟。採取の数々にも、自分たちと同じ再生を感じて 貝塚に集めたのではないか・・・???'と いう。いっぺんに 縄文人へのこの厚い思いに感激で、飛の台遺跡が身近に感じました。

縄文というとすぐに青森三内丸山 土器・土偶となるのですが、あまり知られていない遺跡にも 縄文の心を示す遺跡が数多くある。「日本人の心を映す縄文」とよくいわれますが、そんなことに思いをはせる楽しい旅でした。

皆さんには これらの遺跡がどのように映るでしょうか・・・

これらの遺跡で取った写真をアップします。

「関東の遺跡・博物館から縄文を見直す旅」 2008年9月3日&4日

- 9月3日 ・ 国立歴史民俗博物館（千葉県佐倉）
 - ・ 城下町佐倉武家屋敷通り walk
- 9月4日 ・ 日本最大級の8の字サークル加曾利貝塚（千葉市）
 - ・ 飛ノ台 縄文早期貝塚（千葉連舟橋市）
 - ・ 国立東京博物館（東京・上野）

日本の歴史・民俗研究のナショナル センター
美しい築地場の町並みと武家屋敷の町並み散策
日本最大級の大きな8の字サークルの貝塚
縄文人が初めて村を作りはじめた そんな村を訪ねます
国宝・重文 日本の文化遺産の収蔵センター



「弥生時代が600年遷れる」と発表した
国立歴史民俗博物館
大阪吹田の国立民族学博物館が世界を
国立歴史民俗博物館は日本の歴史・民俗を
縄文から近代までの日本各地の歴史・民俗展示を
見学し、その後 城下町佐倉を散策します

関西では 見られない 縄文貝塚の世界と 国立の二つの博物館に収蔵された国宝・重文の文化遺産。そして 日本各地の民俗の最大成を見学します

加曾利貝塚と飛ノ台貝塚の二つを訪れ 縄文の暮らしの成り立ちから発展を比較して考えます。
縄文中期を代表する巨大環状貝塚 加曾利貝塚公園・博物館を訪ね 縄文の知られざる姿を考えます。
また、飛ノ台貝塚遺跡は縄文人が村を作り始めた先駆け。貝塚と伊勢がいくつも出土

日本が世界に誇る文化・民俗遺産の収蔵展示と研究のナショナルセンター
東京上野の国立東京博物館と千葉県佐倉市の国立歴史民俗博物館
縄文から近代までの数々の遺産展示を見学し、日本の歴史を考えます。

1. 日本最大の環状サークル 千葉市 加曾利貝塚

加曾利貝塚公園 千葉市若葉区桜木町 163 043-231-0129 加曾利貝塚博物館 千葉都市モノレール桜木駅下車



今から約 7,000 年前から 2,500 年前まで続いた縄文時代の貝塚で、国の指定史跡となっています。
約 13ha の貝塚は、世界でも最大規模で、めずらしい 8 の字形をしているのも特徴。貝塚全体は加曾利貝塚公園として保存・管理されており、園内の各施設では、発掘された石器や縄文土器、貝層の断面や竪穴式住居跡などを見ることができほか、復元された住居と周辺の自然林や地形から、縄文時代の「むら」や自然環境にふれることができます。
千葉市は縄文貝塚の密集度が全国一・5ヶ所の史跡貝塚がある
日本全国で縄文時代の貝塚は約 2300ヶ所といわれ そのうち 110ヶ所は千葉市に集中しています。千葉市にはこの加曾利貝塚の他に、中央区仁戸名町の月ノ木貝塚・若葉区貝塚町の荒屋敷貝塚・花見川区さつきが丘の横橋貝塚・若葉区加曾利町の花輪貝塚が国の史跡として保存・整備されています。
加曾利貝塚に縄文人が住み始めたのは今から約 7千年前の事でした。しかし巨大な貝塚が出来たのは、今から約 4千5百年前の縄文中期で、加曾利北貝塚から始まり最も大型貝塚の発達した縄文後期の南貝塚を経て、今から約 3千年前まで続きました。

注) 千葉市 加曾利貝塚公園・加曾利貝塚博物館 千葉市若葉区桜木 8 丁目 33 番 1 号
JR 千葉駅下車、京成バス 9 番「御成台車庫（市営霊園経由）」行「桜木町」下車。徒歩 15 分
千葉都市モノレール桜木駅下車、 R51 を千葉方向へ 貝塚標識板地点を左折直進、徒歩 15 分



大きな環状貝塚「加曾利貝塚」 こんな大きな貝塚のサークル なんで?? 貝塚は縄文人のゴミ捨て場??? 2008.9.4.



日本最大の環状貝塚（縄文中期から後期 5000年前から3500年前にかけて）加曾利貝塚の見学 2008.9.4.



貝塚の環が大きすぎて ちょっと目には良く判らない また、2つの円環と聞いていましたが、もうひとつ円環貝塚が隣接し、またこれら環状貝塚の傍に竪穴住居群が数多くあることが、わかってきた。
千年をかけた環状貝塚の築造 「なぜだろう」



加曾利貝塚の内環の中で 2008.9.4.



復元された竪穴式住居の中へ入って 意外と広い 2008.9.4.

加曾利貝塚の周辺部に多数の竪穴式住居跡が見つかり、貝塚の周辺に大きな集落があった

2. 縄文の村の生活のはじまりを伝える飛ノ台貝塚

貝塚はゴミ捨て場ではない。 再生の願いをかけた一番大事な神聖な場所か ???

縄文の村の生活の始まりを伝える船橋市飛ノ台貝塚遺跡 船橋市海神 2008. 9. 4.

約 7000 年前縄文早期 温暖な気候に恵まれ、定住化が進んだ時代



縄文時代早期の貝塚遺跡・飛ノ台史跡公園 2008.9.4.

注) 船橋市飛ノ台遺跡公園・博物館 船橋市海神 4-27-2

JR 船橋駅下車 バス 海神中学前 または 京成電鉄 海神駅 徒歩 15 分

飛ノ台遺跡 第4区の住居跡・竪穴群と合葬人骨に縄文早期の生活の場を見る



飛ノ台貝塚は、約7千年前の縄文時代早期の集落遺跡で、飛ノ台の地に海と山の湧きの間に生まれた集落の遺構に立地し、周辺の遺跡に先駆けて定住生活を始めていたことが過去の発掘調査に於いて明らかになっている。
その発掘跡にわたる水堀や舟楫痕跡がみられ、平成5年には合葬人骨も見出された。
現在までに住居跡25軒、竪穴約40ヶ所、水堀約400m、舟楫痕跡約50ヶ所が発見されている。

最も注目されるのは、飛ノ台遺跡第4区で発掘された住居跡の様子がありと輝き上る。



縄文早期の生活を明らかにした飛ノ台遺跡

船ノ上野の縄文住居の真実 写真と図から発掘に於ける縄文と発掘が示すこと、早々の土器から始まり、縄文の人骨が出土



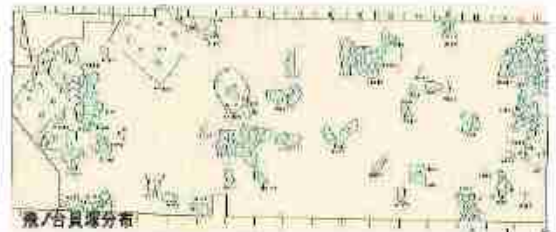
縄文の定住が始まった頃、調理は家の外で、先のとがった縄文土器に入れて・・・

そんな暮らしを示す小さな竪穴住居・炉穴・小さな貝塚がユニットの7000年前の村。貝塚は再生を願う神聖な場だった

飛ノ台遺跡が語る縄文定住生活の始まり



飛ノ台遺跡 第4区の竪穴住居・調理場の炉穴群および貝塚



小型の竪穴住居

野外の調理場 炉穴

住居の傍に小さな貝塚(上図は飛ノ台遺跡の貝塚分布)

飛ノ台遺跡全体で 現在までに住居跡25軒、炉穴およそ400基、貝塚約40ヶ所が発見されている

貝塚は「貝塚はごみ捨て場ではない。日本人の心を映す「再生」を願う神聖な場所」

飛ノ台博物館の学芸員の方の飛ノ台遺跡の解説 縄文貝塚の意味と縄文の暮らしの話を聞いて

飛ノ台遺跡全体で現在までに住居跡25軒、炉穴およそ400基、貝塚約40ヶ所が発見されている。

竪穴住居の傍に炉穴が群集して見つかり、その傍に貝塚がある。この時代には野外の調理場(炉穴)と住居が一体で、生活の場を構成していた。そして、野外の調理場である炉穴は楕円形状に掘られ、その一方で火を焚いた。また、煙道のあるものもある。

この時代 縄文人たちは煮炊きの調理をマスターし、この炉穴での調理に最適な先の尖った縄文土器を考案して用いた。

また、このような炉穴が住居の回りを取り囲むように見られるのは炉穴が繰り返し作られたためである。

この当時 竪穴住居はまだ小さくかつ高さも低いため、小さな火を囲むことはあっても、住居内で火を焚くことができず、調理は野外で行われた。また、住居の傍には貴重にも重なった貝塚があり、幾世代にもわたり、この地で縄文の暮らしがなされた。

この貝塚からは、

「貝塚はごみ捨て場ではない。「再生」を願う神聖な場所」

との縄文人の精神生活を垣間見える証拠が出土した。

貝塚から、食料の残骸が出土したほかに、貝塚下の土坑墓からは2体の抱き合った人骨が出土した。

また、別の貝塚の中から、狩猟のパートナーである犬がそのままの姿で葬られて3頭出土している。

貝塚が単なるごみ捨て場ではない。もうこの縄文早期の時代から縄文人の精神生活を貫く生きかたが見える。

「日本人の心を映す」とされる縄文人の心が見える。

貝塚は、「生きとし生けるもの」のすべての「再生」を願う神聖な場所

温暖な気候の続き、豊饒の恵みを受取る縄文の中期にかけて、

人々の交流を通じ、数々の縄文文化を生き、大きな村の定住生活へと発展し、この思いが 加曾利貝塚のごとく大きな円環の貝塚を作り、大型の環状集落を

発展させ、そして、ストーンサークルへの展開が進んでゆくを見た。



飛ノ台博物館の学芸員の方の飛ノ台遺跡の解説・縄文貝塚の意味と縄文の暮らしの話を聞いて

2008.9.4 by Mutsu Nakanishi



遺跡解説を聞く 縄文時代早期の貝塚遺跡・飛ノ台発掘会場 2008.9.4



2008年度の野外調理場「炉穴」に隣り 縄文の定住生活の始まりに、熱心に耳を傾けられる。2008.9.4

縄文というとすぐに青森三内丸山 土器・土偶となるのですが、あまり知られていない遺跡にも 縄文の心を示す遺跡が数多くある。「日本人の心を映す縄文」とよくいわれますが、そんなことに思いをはせる楽しい旅でした。

皆さんには

これらの遺跡がどのように映ったでしょうか・・・

2008.10.1. 神戸 Mutsu Nakanishi

参考

1. 和鉄の道 (縄文) by Mutsu Nakanishi
日本最大の大型縄文貝塚 加曾利貝塚遺跡探訪
<http://mutsu-nakanishi.web.infoseek.co.jp/kasori.pdf>
2. 船橋市飛ノ台史跡公園博物館「縄文-ふなばし-再発見」
3. 舟橋市立海神中学 HP 「飛ノ台遺跡」
<http://www.kaijin-j.funabashi.ed.jp/>
4. 和鉄の道 (縄文) by Mutsu Nakanishi
縄文の心を映すストーンサークル
<http://mutsu-nakanishi.web.infoseek.co.jp/7iron13.pdf>